

# 新潟県生活文化研究会だより

2010.07.01 NO.19

新潟県生活文化研究会

新潟市東区海老ヶ瀬 471 TEL.025-270-7383

FAX.025-270-5173

## 短歌に導かれて

岡田 玲子

私は趣味として短歌を学んでいます。短歌結社「歌と評論」に入会させていただき毎月7～10首の投稿が、日常の生活リズムに加わって30余年になります。

「歌と評論」は、佐渡・羽茂町出身の歌人・国文学者であり、教育者であられた藤川忠治先生が昭和4年7月に創刊され、その時主張された結社誌の道標が「個性の尊重」・「表現の錬成」であり、現在に続いています。流派にとらわれないということが藤川先生の根本でしたが、正岡子規をこよなく崇拜してその研究書を大成され、また斎藤茂吉も尊敬なされていたので、作品そのものは写実尊重で人間味豊かな歌風であったと評されています。門下生の作歌に関しては極めて寛大で「個性の尊重」を押し通され、このことを一番に尊敬し有難く思うと先輩同人の皆様が申されます。私は先生の晩年に3年ほどご指導を賜りました。先生は昭和49年4月に亡くなりましたが、先生亡き後も先生の理念が継承され、平成22年で誌齢81巻を数えます。私は先生の次の歌を銘し鼓舞されています。

○一生にひとつの歌を詠むためにこころもはらに  
われははげまむ

本結社は持ち回りで毎年全国大会を開催しています。現役の時はいかにしか参加出来ませんでしたが、定年退職後は毎年参加し多くの歌人、歌友の方々と出会い交流し、学ばせていただいています。昨年久留米市での大会の折、次年度大会を新潟支部で引き継ぎ、第49回「歌と評論」全国大会をこの6月25・26日(金・土)、新潟東急インを会場に開催することになりました。50代～90代の68名の方々が参

加され、目下その準備を新潟支部会員9名で協力して進めています。

結社の中で最もご高齢の同人であられる埼玉県在住の98歳の女性の方との、短歌を通しての交流を若干したためさせていただきます。

○身に似合ふひと日終はりて休む庭 強くやさしく  
夕ほととぎす

評：「身に似合ふ」と達観された自適のお姿が菩薩に映り、四、五句の感性に惹かれる。

これは私がある月の同人(一)の歌評を依頼され、このお方の作品を評語2行で記させていただいたものですが、このお方から便箋4枚ものお礼のお手紙をいただきました。短歌を詠み続けることが唯一の楽しみであり、自分の歌をお分かりいただいたことがとても有難いとしたためてありました。このお方は四世代家族の中で日中は留守居や草取りなどもされて、平穩にお過ごしですが、時には次のような歌も詠まれています。

○小寄りする集ひの幸にありながら現代政局の不安は辛し

今回の新潟大会には遠出が無理となり不参を詫げる電話を賜りましたが、その張りのある温かい声に感銘を受けました。このようにしなやかで温かく豊かな心で、歌を詠み続けられたらいいなあと沁みて思いました。

會津八一先生の教えの言葉に「いつとなく思い泛びしを、いく度もくりかえし口ずさみて、おのづから詠みあふたるもの、これがわが歌なり。」があります。よく噛みしめて味わいたいと念じています。

## 平成22年度第1回幹事会報告

本年度の第1回目の幹事会を開催しました。現在の予算状況、秋の総会・年次大会へ向けての準備などを次のように話し合いましたので、当日ご欠席の幹事および一般会員の皆様にもご報告いたします。今後の活動についてご理解とご協力をお願いします。

1 日時 : 2010年5月13日(木)

17:00 ~ 18:00

2 場所 : 新潟県立大学 1204 会議室

3 出席者 : 地濃茂雄 佐々木博昭 渡邊令子  
佐藤恵美子 木佐木哲朗 神山 伸  
板垣俊一

委任状提出者 14 名 (全 29 名中)

4 報告事項 :

(1) 予算状況

①現在の預金高 17,862 円 (第四銀行)

②本年度の収入見込み額 269,750 円 (会費収入他)

以上のとおり、会計 (佐藤恵美子氏) より報告があった。

(2) 会員動向

退会者 9 名 (村松芳多子 中川加寿子  
村上妙子 菅井清美 中島和子 油浅耕三  
阿部礼子 荻原信子 熊谷秀子の各会員)

入会者 0 名

現会員数 70 名

顧問 3 名 (本間伸夫氏は会員としても扱う)

\*住所不明 : 長谷川美香氏

5 議事 :

(1) 昨年度の収支決算について

(2) 平成22年度の総会について

○会場 新潟県立大学

○日時 2010年10月30日(土)

新潟県立大学友祭当日

○記念講演講師候補

新潟県立大学の近くに立地する食品関係会社の経営者に依頼することとし、講師の撰定と依頼、そのほか開催企画案等については大会系の渡邊令子幹事に一任。

(3) 平成22年度の年次大会について

○研究発表 ポスター発表の形式で行なう。応募締切等を含めてこれも大会系の渡邊令子幹事に一任する。

(4) 本年度の収支予算案について

(5) 研究会だよりの発行について

原稿が集まり次第、7月初旬に発行する。

また、「研究会だよりの」や会員への連絡は可能な限りホームページを使って行ない、通品費を安く抑える。現在ホームページが公開されていないので、公開に向けて会長・野本会員・神山会員とで作業を行なう。

(6) 会誌第17号の発行について

予算状況はきわめて厳しいが本年度の事業として会誌第17号を発行する。発行部数等は会誌編集担当と会長が協議して決める。PDF化も行なう。

平成20, 21年度決算・予算報告 (昨年度の総会で承認されました)

平成20年度実施事業

1. 平成20年度総会および年次大会の開催
2. 会誌「新潟県の生活文化」No.15号の発行
3. 会報「新潟県生活文化研究会だより」No.17号の発行

平成20年度 収支決算書 (2008年4月1日～2009年3月31日)

{収入の部}

(円)

科目	予算額	決算額	増減額	備考
会費	280,000	234,500	-45,500	20年度年会費(3,500円×72名)、過年度分納入含む
利子	0	0	0	郵便貯金利子
雑収入	0	57,000	57,000	投稿料6件
繰越金	27,263	27,263	0	
収入合計	307,263	318,763	11,500	

{支出の部}

(円)

科目	予算額	決算額	増減額	備考
大会費	10,000	10,000	0	大会・総会
印刷費	255,263	255,000	-263	「新潟の生活文化」No.15印刷代
通信費	40,000	40,470	470	切手・ハガキ、研究会だより、研究会誌郵送代等
雑費	2,000	1,210	-790	文房具、封筒代、ラベル紙
予備費(次年度繰越金)	0	12,083	12,083	
支出合計	307,263	318,763	11,500	

監査の結果、適正に処理されていることを確認致しました。

会計監査

岡田玲子(印)

伊藤知子(印)

平成21年7月22日

平成21年度実施事業

1. 平成21年度総会および年次大会の開催
2. 会誌「新潟県の生活文化」No.16号の発行
3. 会報「新潟県生活文化研究会だより」No.18号の発行

平成21年度 収支予算案 (2009年4月1日～2010年3月31日)

{収入の部}

(円)

科目	前年度 予算額	予算額	増減額	備考
会費	280,000	262,500	-17,500	年会費(3,500円×75名)*09.7.21現会員数(8名退会、3名入会)
利子	0	0	0	
雑収入	0	69,521	69,521	御寄付は69,521円
繰越金	27,263	12,083	-15,180	
収入合計	307,263	344,104	36,841	

{支出の部}

(円)

科目	前年度 予算額	予算額	増減額	備考
大会費	10,000	10,000	0	大会・総会
印刷費	255,263	260,000	4,737	会誌「新潟の生活文化」No.16印刷代、研究会便りなど
通信費	40,000	40,000	0	切手・ハガキ、研究会だより、研究会誌郵送代など
雑費	2,000	2,000	0	文房具、封筒代、ラベル紙など
予備費(次年度繰越金)	0	32,104	32,104	
支出合計	307,263	344,104	36,841	

## 平成21, 22年度役員等 (昨年度の総会で承認されました)

### 新幹事

飯野秋成 五十嵐稔 五十嵐由利子 池田 亨 大江秀夫 太田優子  
神山 伸 木佐木哲朗 坂口 淳 佐々木博昭 佐藤恵美子 島崎敬子  
鈴木貴江子 関谷浩史 曾根英行 立山千草 田口太郎 富永禎秀  
地濃茂雄 長井久美子 福嶋秩子 藤井隆至 本間伸夫 宮西邦夫  
山浦健夫 横尾欽一 渡邊令子 野本洋平 板垣俊一

顧問 島津光男 本間伸夫 石原和夫

役員改選 下線部は新規役員。○印は責任者。

会 長 : 佐々木博昭

副 会 長 : 地濃茂雄 板垣俊一

年 次 大 会 : 渡邊令子

会誌編集係 : ○立山千草 山浦健夫 本間伸夫 佐々木博昭 田口太郎 宮西邦夫

広 報 係 : ○曾根英行 野本洋平 神山 伸 飯野秋成

会 計 : ○佐藤恵美子 太田優子

書 記 : ○飯野秋成 曾根英行 富永禎秀

事 務 局 : ○板垣俊一 佐々木博昭

監 事 : 伊藤知子 岡田玲子

### ※新設係

	名 称	任 務
1	広報係	本会ホームページの運営、「研究会だより」編集協力など
2	書記	役員会議事録、大会議事録の作成



## 会からのお知らせ

### [1] 2010年度（平成22年）の総会および年次大会開催のお知らせ

本年度の総会および年次大会は、公立大学法人・新潟県立大学において開催します。学友祭とも重なりますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

#### 総会・特別講演・年次大会

日時 2010年10月30日（土） 13:00より  
場所 新潟県立大学（視聴覚教室）  
〒950-8680 新潟市東区海老ヶ瀬471

#### 1. 総会（13:00～13:30）

##### 議事次第

- (1) 議長選出
- (2) 議事録署名人選出
- (3) 議事

- 第1号議案 平成20年度事業報告の件
- 第2号議案 平成20年度収支決算の件
- 第3号議案 平成21年度事業計画案の件
- 第4号議案 平成21年度収支予算案の件
- 第5号議案 その他

#### 2. 記念講演（13:45～15:15）

演題：「かまぼこ類の歴史と製法」

講師：小池博実様

（一正蒲鉾株式会社 品質保証部長）

※記念講演のあと講師を囲んで歓談する場を設けます。

#### 3. 年次大会研究発表の募集！

ポスター形式の研究発表を募集いたします。発表形式は以下のようにお願いします。

◇縦180mm×横90mm（A1サイズ）以内

◇研究内容は自由に記入してください

なお、10月30日に、ポスターの前で30分間、説明を行っていただきます。質問を受けたり、自由に討論を行なってください。

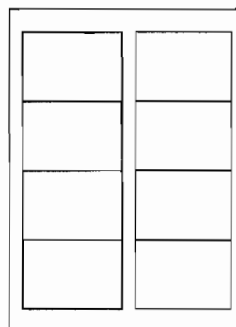
掲示：2010年10月30日（土）

貼付は当日12:00までをお願いします。

発表：2010年10月30日 16:00～17:00

場所：新潟県立大学 視聴覚室

ポスター形式の例



A4用紙の場合は左図のように8枚並べて展示することができます。

ポスターボードは事務局で用意します。

#### ◆研究発表の申込みについて

応募締切：2010年10月1日（金）

題目および発表者全員の氏名と所属だけを事務局までお知らせ下さい。

ポスター・レジュメは、大会当日に各自でご用意下さい。

申込先：〒950-8680 新潟市東区海老ヶ瀬471

新潟県立大学

新潟県生活文化研究会事務局

板垣 俊一 宛

TEL.025-270-7383

## [2] 会誌「新潟の生活文化」17号の原稿募集!

会誌17号の原稿を募集致します。

皆さんの積極的な投稿をお願い致します。論文・論説・資料・紹介・エッセー・お知らせなど、会の趣旨に近ければどんな小さな記事でも結構です。気楽に投稿してください。

★原稿の締切日：平成22年11月末日

### ◇書式について

書式は横書きとします。予算が限られていますので、場合によってはそのまま印刷が可能なように、文字の大きさ・周囲の余白・字数など1ページの体裁を整えていただくことになるかも知れません。また、図表や写真(白黒)の挿入については投稿者に後日ご相談致します。なお、刷り上がり4ページ以内は投稿料無料、4ページを超過した場合は予算の関係上、5ページ以上の分につき印刷実費を負担して頂きます。また、ページ数に関わらず、図表や写真のカラー印刷を希望される方についても印刷実費を負担して頂きます。

### ◇著作権の譲渡について

今後、本会のホームページも開設される予定ですので、会員のみなさんの記事を電子化してホームページ上にのせることもありうると思います。これについては著作権法の問題が生じますので、投稿のさいには次のような方針をご理解下さるようお願い致します。

- (1) 会誌掲載記事の著作権は執筆者本人に属します。
- (2) ただし、上記の著作権のうち「公衆送信・伝達権」を学会長に譲渡していただきます。

《次の記事もお願いします。》

\*「ひろば」欄の〈特集〉では「我が家の伝統の料理、地域の料理・食物」を掲載しています。

たとえどのように短い紹介でもかまいません。

写真がある場合は添えて下さい。また、〈掲示板〉に載せる記事もご紹介下さい。今後予定されている研究会活動や市町村の地域活動などです。

\*「紹介」欄に載せる〈会員の出版物〉や〈催し物〉もご紹介下さい。

○会誌の構成は今までと同じく次のように予定しております。

I 研究論文・研究ノート

II 論説・総説・解説

III 資料

IV ひろば

①声(エッセーを自由に)

②特集

③掲示板(会員の皆さんにお知らせしたいこと  
をお寄せ下さい)

V 紹介

①出版(会員の出版物をご紹介下さい)

②催し物(地域であった、または予定の催し物  
をご紹介下さい)

◇記事の振り分けは、編集担当へご一任いただければ幸いです。

◇文字原稿は取り敢えず E メールにてテキストファイルで送って下さっても構いません。

原稿送付先

〒950-8680 新潟市東区海老ヶ瀬471

新潟県立大学

会誌編集担当：立山千草 宛

E-mail: chigusa@unii.ac.jp